



## 巻頭言

## 国際会長より

### 皆さんから皆さんへ

本誌ワイズメンズワールドは、ワイズの会員が執筆し、会員が読む刊行物です。編集長は記事を書かず、ただ形式を整えたりレイアウトを考えるだけで、内容はもっぱら会員皆さんに責任があるのです。



各エリアに副編集長がいて、皆さんの活動を紹介する記事や写真を求めています。皆さんが読んで、国際の仲間意識を持てるような寄稿をお待ちします。国際事業主任からのニュースも歓迎です。ワイズ会員個人からの投稿も受け付けますが、採用するかどうかは編集長にお任せいただきます。写真がよほどよいと、採用の機会が増えます。

英語の原版が完成すると、そのCDが中国語、デンマーク語、フィンランド語、日本語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語の翻訳版作成チームに送られます。今後ロシア語版も作成する予定です。

本誌の内容がイマイチだとお感じになるようでしたら、どうぞ良い原稿を送ってください。

編集長アラン・ウォリントン

*Yours in Y'sdom  
Wally*

表紙の写真はIBC四角形の締結式。本号IBCの記事参照。次号へのご投稿は（日本国内の場合）年内に苗木副編集長までお送りください。日本語でいただければ英訳いたします。十分精密なデジカメ写真か、印画紙写真を提供ください。

あて先 272 - 0033 市川市市川南 3-12-C-1508 青木一芳  
e-mail : kkaoki@myad.jp

### 本年度の重点項目

私は年間主題として「愛をもって積極参加」、ビジョンとして「10年先の礎石を今」、スローガンとして「06年度中に会員三万人」を掲げました。



ワイズメンズクラブ国際協会の沢山の重要プログラムやプロジェクトの中で、今年度は地域奉仕、会員維持、広報および効率的な連絡に重点をおきます。我々の使命であり、広報面でも効果のある地域奉仕では、各国規模の災害に対する「一目全国地域奉仕」を取り上げます。又、最近増えているワイズの外国訪問中、問題や不便に困ったワイズを助け

る為の「サポートコール・ネットワーク」の活用もお奨めします。

効率的な連絡も重要です。8月から、国際会長、地域会長、区理事、クラブ会長からそれぞれ必要な連絡先に各月末に必ず、短く、しかも実質的意味のあるメッセージを送りましょう。この連絡制度の実施状況について、1月と6月に評価を行ないます。

昨年オーストラリアのジェニファー・メネットからメールで、(1)ワイズに未来はあるのか？3,5,10,30年後、ワイズはどうなっているのか？(2)事業団体や、ライオン、ロータリー等地域団体がひしめく中で、ワイズの出る幕はあるのか？という質問を受けました。勿論、答は「イエス」です。ワイズ運動はイエス・キリストの教えに基づく相互愛と平和に繋がる文化価値を広めるユニークな団体です。キリスト教とYMCAが世界に生き残る限り、ワイズも生き残ります。発足時はYMCAだけの支援を目指しましたが、その後我々の活動は地域から国際規模へと広がり、その課題も重くなりました。世界中を襲う災害の中で貧しい人々は我々の助けを待っています。

より良い地域、国、世界の建設を助ける為に、会員増強を目標に進みましょう。

最後に、我々は信じあい、理解しあい、相互の和を創り上げて行きましょう。それは義務であり、また可能であり、共通の目標です。ワイズメンズクラブ国際協会は永遠です。

チェリ・ハンキ 国際会長

### 「サポート・コール・ネットワーク (助けて！電話網)」

今日、ワイズの公的、私的な海外旅行は増え、病気、事故、不案内、言葉、ホテル予約、航空便のキャンセル、手持品の紛失、盗難、ホームステイ先探し、クラブ訪問等、旅行中の問題や不便も増えました。そんなワイズやその親戚や友人を助ける為に「サポート・コール・ネットワーク」が出来、その一環として、「緊急連絡先」が世界中の地域会長の協力で決りました。お困りの際は、下記緊急連絡先リストにご連絡下さい。ご出発前に、この連絡先の方の住所と電話番号を国際本部で調べておいて下さい。では、よいご旅行を！

チェ・ハンキ 国際会長

エリア	国	緊急連絡先
アフリカ	ナイジェリア	Femi Oduntan
アジア	日本	西村隆夫
	日本	浅見隆夫
	韓国	Choi Han-ki
	韓国	Yang Hyun-kook
	韓国	Lee Joo-min
	タイ	Wichian Boonmapajorn

	フィリピン	Larry Chan
	台湾	David Hsiao
	シンガポール	Henry Siew
	マレーシア	Andrew Tan
カナダ	カナダ	Bill Irwin
ヨーロッパ	デンマーク	Roger Nielsen
インド	インド	O. Srinivas Reddy
南太平洋	オーストラリア	Alan Knott
	オーストラリア	Dale Fotheringham
	オーストラリア	Don McGill
アメリカ	アメリカ	Fred Lonard
アメリカ	アメリカ	Faye Johnson

## ワイズメン国際に対する認知

国連経済社会理事会において特別な資格を持つ NGO

私は国際書記のロランド・ダルマスと共にワイズメンを代表し国連の協議資格の申請をしてきました。最初の申請が簡単に受理されなかったのはワイズ運動に国連関連プロジェクトが不足していたためでした。

第二回目の申請を2年前の2005年5月30日に行いました。審査には一年かかるということでしたが、待望の通知が2006年7月21日に届きました。国連経済社会関連 NGO 部からワイズメンズ国際協会に対して特別協議資格を認めるというものでした。

国連からの手紙には以下の内容が書いてありました。  
 「...最後に、貴組織のレターヘッドに国連との関係を記載したい場合は、『国連経済社会理事会において特別協議資格を持つ NGO』という言葉を使用すること。ただし、国連のエンブレムは国連の法務部からの許可が得られるまで便箋、封筒または印刷物には使用してはならない。」  
 この新しい特別協議資格をワイズとしてどのように利用できるかがまだ明白でないため、これに関する調査委員会（タスクフォース）が正確な情報を提供するまで各クラブ、区、地域では何もしないで待っていて欲しいのです。ただ、国連の協議資格を受けたことは事実ですので、地域、区、部、そしてクラブのプリテンにはこの記事をご転載し会員に伝えてください。

できるだけ早く新しい情報を各区に伝えます。それまでお待ちください。

オウレ・ハンセン 本件特別委員会委員長

ご存知ですか？  
 編集長はこの小さいスペースを埋めるような意義ある短信をいつも求めています。  
 貴クラブは何かよいニュースをお持ちですか？

## 地域社会啓発の動き

ナイジェリアのロゴスワイズメンズクラブはラゴス YMCA と協力してイコイ刑務所の受刑者訪問を行い受刑者と刑務所職員に贈り物を手渡ししました。今後はリクリエーションも含めたプログラムを定期的に提供することになりました。

2006年5月にウラオラ記念日のオープニングとして世界統一プロジェクト（UGP）に基づいた HIV / 山 DS を訴えるチャリティー・ウォークが行われました。またこの記念日には100名を越す学生や他の参加者があり、ラゴス YMCA で行われたイベントではナイジェリアのイバダンにある医大（University Teaching Hospital）のラディボ教授の講演があり、その他ダンス、演劇、表彰などが行われました。

トゥウンジ・マキンデ ラゴスクラブ会長



## 大きく変容する世界のワイズ

世界が大きく変化の中で、ワイズの姿も大きく変わってきています。この新しい姿にあった機構が求められています。

今年の韓国プサンでの国際議会でも、この大きく変化するワイズの現実が話し合われました。具体的に起きている変化を見てみましょう。

・世界のワイズ運動が、新しくアラビア半島、ロシア、その他の地域に広がっています。既存の「地域」、「区」の枠組みを見直す必要が出てきました。会員数構成で見ますと、インドや、アジア地域が大きく伸びているのに対して、アメリカ、ラテンアメリカ/カリブ海地域は、会員数を大きく減らしています。現在の国際議員の分布

構成も、変える必要があります。この問題を、タスクチームが検討しています。

・過去、30年間で世界に分布するワイズメンの会員構成がすっかり変わりました。以下は、その30年前と現在の変化の比較です。

アメリカ35%から8%へ。 アジア23%から33%へ。  
ヨーロッパ20%から24%へ。 インド8%から28%へ。  
・この変化を反映して国際議員の構成比も、30年前と大きく変わりました。  
アメリカ7名から1名に。 アジア3名から7名に。  
ヨーロッパ3名から5名に。 カナダ2名から1名に。  
ラテンアメリカ/カリブ海 2名から1名に。  
サウスパシフィック 2名から1名に。  
40%、アメリカは32%が女性会員です。

・ワイズのプログラムで、ユースの参画が増えています。しかし、さらにワイズの活動に彼らの積極的参画が求められています。

・このような変化から、ワイズの国際憲法の改正が不可欠です。2006年の国際議会で、いくつかの改正に事前承認を得ました。

・これからの将来のワイズ姿をどのように描いたらよいでしょうか？ やはり、会員数のさらなる増強を図り、それによって、YMCAと地域社会への貢献を増す必要性があります。さらに、会員構成の偏り(所得層、人種、ジェンダー、年齢構成、など)を減らす必要性があります。もっと多くの女性とユースに、重要な役割を担ってもらう必要もあります。ワイズの特徴を出すため、ワイズらしい独創性、イノベーションが求められます。

国際書記の立場から見ても、これからのワイズは、やはりその重点目標を「ヒト」そして行うプログラムに置くべきと考えます。

ロランド・ダルマス 国際書記長

## 国際兄弟クラブ(IBC)を持ちませんか

IBCをまだお持ちで無いクラブの皆さん他の国に兄弟クラブを作りませんか。

その前にあなたのクラブは熱心に相手クラブとの交流を熱心に努めますか、クリスマスカードだけでよいなんて考えていませんか。会員の交換、交流、プログラムの交換、コメントの交換留学、YEPP等兄弟クラブとの交流を楽しみたいのであれば、IBCを持つ資格があります。

相手を探すには、まずあなたの所属している部事業主査に相談してください。主査は手持ちのクラブがあれば、紹介してくれるでしょう。さもなければ区の国際交流事業主任が相談に乗ります。主任は地域事業主任、国際事業主任に相談します。あなたの希望にあったクラブは見つかりましたか。いや、まず最初に相手のクラブの特徴、

所在地条件、人数構成、年齢構成、職業構成等あなたの希望する項目を正確に伝えるようにしましょう。自分のクラブのこの項目は正確に説明できますよね。

相手が決まりましたら、締結式です。締結契約書が国際で用意されていますので、それを使いましょう。実際



には区事務局に問合せください。締結式には部、区、地域、国際の役員も立ち会ってくださるでしょう。契約書には区事業主任と国際事業主任の署名が必要です。地域事業主任にも連絡します。署名しますと、IBC相関リスト(ディレクトリ)に記帳されます。これで終了です。

2006年8月の釜山国際大会で、4クラブ兄弟クラブ締結式が挙行されました。クラブは韓国東区の安東クラブ、米国太平洋南西区のイースト・バレークラブ、ロシア区のメガポリスクラブと韓国中央区の安山エバグリーンクラブです。

国際大会に出席していた4クラブの会長に元国際会長のエリック・金さん、アジア地域IBC事業主任バンコクのウィッチャン・ブーンマラジオンさんが立ち会いました。異なる文明間での緊密な相互理解、企画や経験の交換で相互理解がさらに深まることを確認しあいました。

ジョシー・ジョセフ IBC国際事業主任

## IBCの共同プログラム開発

25年前にチャーターナイトが同じ日であったデンマークの南ビエルトクラブとノールウェイのネットレイクラブはそれが縁でIBCになりました。それから2年ごとにお互いのクラブを訪問して友好を深め合いました。

25周年を迎えるにあたり、会員相互の交流会だけでなく意味あるプログラムを持つと、以前から三角関係クラブにある、ス

リランカのクラブが災害のため、閉所していましたが、コロンボクラブが郊外の



スラム地域に保育園の開設が要請されていましたが、大津波のためにそ  
**愛をもって積極参加**

れが不可能になっていました。そこでこのプログラムの支援依頼が北欧に到着しました。

ネットレイクラブはこの数年、冬季道路凍結時に散布する砂を入れたプラスチック袋をガソリンスタンドで売っていました。2 クラブはこの要請に応じて 1, 200 米ドルをスリランカに送金しました。この金額は 2 人の保育士の 2 年分の給付額に相当します。この事業はコロンボクラブの監督の下実施されました。

クヌート・インゲ・テュスネス ネットレイクラブ

## TOF 事業一大いなる可能性

私は過去 2 年間、大きな喜びを持って TOF 委員会の委員長として働いて参りました。今年はアフリカから 3 つ、アジアから 1 つ、ヨーロッパから 2 つ、インドから 7 つ、ラテンアメリカ/カリブ地域から 1 つ、アメリカから 1 つ、計 15 のプロジェクトの応募がありました。しかし、私たちの総予算枠は 250,000 ドルしかなく、現在進行中のプロジェクトも 8 つあります。そこで、各地域の状況も慎重に吟味した上で今年度は、アフリカから 2 つ、インドから 2 つ、アジアからとヨーロッパからそれぞれ 1 つの、計 6 つのプロジェクトが承認されました。ご承知の通り、我々は 2 年前、TOF 事業の中に HIV / AIDS の救済を主テーマとする UG P プログラムを盛り込むことにいたしました。我々は HIV / AIDS

が戯何百万という人々に感染しており、世界的に重要な問題になりつつあることを知っています。今年度、支援が決まった 6 つのプロジェクトの内 4 つは UG P - AIDS / HIV に関係するものであり、現在、実施中の 8 つのプロジェクトの内 5 つも AIDS / HIV の問題を取り扱うものです。このテーマに対しては、他の多くの団体も同じように支援に動いています。これら団体の中に我々と協働できる団体が見つかる可能性は十分にあると思われます。特に、我々は、今や、国連にたいして NGO の資格でコンサルタントとして働くことが認められています。是非ともよきパートナーを見つけて、AIDS / HIV に感染している人たちに光を与えることができるこの壮大な計画を成功させましょう。

私は国際会長に就任する 2007 / 2008 年度の到来を待ち望んでいます。私の主題は国境なきサービスとなる予定ですが、このことこそ TOF の精神に他ならないと信じています。

ラッセ・ベルシュテット  
次期国際会長、元 TOF 委員会委員長



## 特色のある区大会

第 48 回韓国中央区大会の初日は形通りに、祈祷、オープニングセレモニー、AP イ氏による特別講演、次期区役員の就任式、RD 主題および施政方針の発表とすすみ、い友人との再会や新しい友人との交流が繰り広げられました。第 2 日目の催しは全く趣をかえ、外国人労働者たちとの祭典



一色の日でした。現在、韓国には韓国人と一体化できず困っている多くの外国移民が住んでいます。私ども Y's が彼らを歓迎する役目を買って出しています。当日は約 500 人の外国移民の方々が祭典に集まり、ゲーム、リクリエーション、ダンス、バザー並びに致などに興じました。朝 9 時から、クアンジャン小学校のグラウンドでフットボールや、綱引き大会などが行われ、モンゴル、イラン、フィリピンおよび南西諸島の 4 チームがトーナメント戦を展開しました。午後からは移民主催の文化祭が催され、大変楽しいものとなりました。

ゲストをもてなすためにソウル・ハンヤンクラブのメンバーが 4 人の奏者が打ち鳴らす韓国の伝統的な打楽器 'サムルノリ' も演奏され、きわめて、有意義な特色ある大会となりました。

ヤン・ヒユングク 韓国中央区理事



## ウェルカム・ホーム

タイ北東部のユーボン・ラッチヤタニという所に、エイズや HIV で障害を持った孤児達が暮らすウェルカム・ホームという施設があります。

クリスチャンであるプラドターナさんという女性は、1995 年からこの施設に携わって、10 年間に渡って子供達の面倒をみています。子供達はそこで心地よく過ごしていますが、彼女にとってはそれらの病を持った子供達を見ると心が痛みます。2003 年には、エイズにかかった子供達専用の孤児院が作られて、ウェルカム・ホームの子供達は、キリストの愛を受けて、神の教えを学びなが

## コミュニティー活動

ら、充実した日々を送っています。

しかし、偏見や隣人のいじめなど、大きな問題がまだまだ残っています。何度も地主から追い出されそうになり、今まで3回も引越をしました。

キリスト教の信者が、2005年初頭に新しい家を買うのに献金で25,000米ドルを集めました。2005年末には、10,000米ドルで家具などのインテリアをそろえました。



アジア地域会

長のジャネット・シュウ氏は、それらの事業を推進する為に、6,000米ドルの募金を集めました。シンガポール・ベータ・チャプター・ワイズメンズクラブが、主にこのホームに力を入れていて、南東アジア区も区地域事業としてウェルカム・ホームを支援しています。

アンドルー・タン 南東アジア区元理事

## ペルーで若いメンバーが集うクラブ

2004年8月にチャーターしたペルーのリマにあるジョージ・ウィリアムズ・ワイズ・メンズクラブは、ペルーYMCAの協力を得て、若い男女が集うワイズメンズクラブを設立しました。これはユースクラブではなく、れっきとしたワイズメンズクラブで、25歳以下の若者達が集まって熱心に取り組んでいます。

会長のホセ氏は、クラブのメンバーの中で人望も厚く、YMCAのリーダーとして長く貢献して来ました。

部の大会にも参加して、他クラブに出来ない所で役に立って、協調することをトレーニングで学んで来ました。ホセ氏は、大会でクラブの意見を取りまとめて意見を発表し、お互いの違うところを認識して、ワイズダムをより深く学びながら、有意義な時を過ごしました。

ノラ・セクリ ロサリオクラブ(アルゼンチン)

## 真のコミュニティー事業とは...

カリフォルニアのキューベルティエーノという町にあるノースウエストYMCAで、町の様々なボランティア団体が協力して、広いグラウンドを作りました。そこで、子供たちは、時の経つのも忘れる程、新しいブランコや遊技器具で遊んでいます。

このグラウンドは75,000米ドルの予算をかけて、100人を超えるボランティアが、一辺約1km四方の土地を5年間の歳月をかけて作り、夢が実現しました。30人の会員を持つノースウエストYサービスクラブは、労働作業

## 広報活動

と45,000米ドルを提供しました。

また、別のクラブは、企画案を出したり、ボランティアする人達を集めたりして、この事業に貢献しました。パルソンズ会長はこのように言っています。

「このグラウンドは、キューベルティエーノの住人すべての人たちから贈られたコミュニティーの贈り物です、ですから奉仕クラブは単なる促進剤のようなお手伝いをしたただけ、これが本当のコミュニティー活動だと思いません。」

ジエラルド・ジヒクーマン  
ノースウエストYサービスクラブ(米)

## 広報活動の大切さ

ワイズメンの同胞の皆様、我々は素晴らしい国際奉仕団体であるワイズメンズクラブ国際協会のメンバーとして社会や友人遠から一目を置かれています。ワイズ運動は我々に地域社会に奉仕する基盤を与えてくれました。しかし我々がワイズメンとして真に誇りを持つ為の条件は社会が我々を受け入れ、社会がワイズの運動、目標、目的を知り、我々が有益で継続的な質の高い地域奉仕プロジェクトを行うことです。

イメージが心象を作り上げます。我々にはあらゆる機会を捉えてワイズ運動を知らしめる必要があります。誰も「ランプに灯を燈してお碗の下には置きません。その代わりに家の中の家族全員に光が届くような燭台の上に置くでしょう。」我々の明かりを真の意味で輝かせましょう。活発なメンバーを広報担当に任命すれば、地元のマスコミに働きかけて有意義なクラブ行事を報道してもらおうとするでしょう。地元住民にTOF、UGP、YMCAとの関係、ユースキャンプやワイズのモットーについて知らせましょう。これらの活動がワイズメンズクラブのイメージアップに繋がり、より多くの奉仕精神を持った新会員がワイズ運動に惹きつけられるでしょう。

イメージが想像を掻き立てます。我々は地域社会におけるワイズのイメージを高める努力をすべきです。公の行事にはいつも誇りを持って会員バッチを身に付けて出席すべきです。車にはワイズメンステッカーを貼り、町の目立つ所にクラブ名、例会開催日・時間・場所を書いた掲示板を設置し、UGPやモットーなどを強調する公告板や交通信号板を設置し、自宅の外壁にはワイズメンのロゴ付き表札を掲げましょう。ブリテンはワイズ運動を伝える最高の手段ですから可能な限り地元の学校、図書館、その他の公的施設に配布すべきです。全ての会員は勤め先や自宅の目につきやすい場所にブリテンやワイズの刊行物を置いておくべきです。奉仕プロジェクトを実行する際は地元のスポーツクラブ、アートクラブ、その

他の社会団体、町内会などと協力して行うのも良いでしょう。そうすれば興味を持った人が入会することにつながります。

今年度は広報活動を最重要視しましょう。チェ・ハンキ国際会長は広報活動を最優先事項と定めていますので、我々のイニシアチブは国際会長のビジョンを揺るぎのないものにするでしょう。

シヴァナンダン・ネール 広報活動国際事業主任

## 独自の活動を

エリック・キム広報事業元国際事業主任はマスコミの注目を引いてワイズダムのメッセージを広めたいならば「独自の活動を」と繰り返し訴えて来ました。マレーシアのシルバー・ステート・Y サービスクラブは新クラブ会長トウ・ヒントン就任晩餐会でこれを実践しました。ジャネット・シューアジア地域会長を始め 300 人以上のゲストが出席したこの会で最もマスコミの注目を浴びたのは 2,500 リンギット (680 米ドル) を受け取る為に招待された四つの慈善施設からの人々でした。晩餐会に先だってコメントがアジア地域内の様々な国旗を運ぶ中で出席者が紹介されました。巨額施設は、望まれず生を受けた子どもの施設、問題児の施設、孤児院、血液病気の子どもの施設です。これらの施設は受け取った寄付金でそれぞれ必要な備品や物品を購入したり活動資金に充当しました。更に我々のクラブは虐待を受けた女性と妊娠中の未婚の母の施設にも毎月野菜と新鮮な果物を提供しています。

ジョン・リム シルバーステート Y サービスクラブ

## 人への奉仕は神に仕えることです

これはマハトマ・ガンディの言葉です。儀礼的に神に仕えるのではなく、信仰に根ざした人への奉仕を神はご存知です。

意まれない又助けを求めている地域への奉仕は、信仰の発露です。

HIV / AIDS の抑止は、国際ワイズメネットが取り組む最重要課題です。

死の病である AIDS の抑止に向けて大きく前進し、総額 33,480 ドルの支援を決めました。ロシアでは、エカテリンブルグクラブの大事な活動があります。AIDS の脅威に対して、10 代の



若者たちの教育に取り組んでいます。彼らの自覚を促すために、絵画コンテストを開催し、また小冊子やポスターを作成しています。このプログラムに、ワイズメネット国際プロジェクトは 2700US ドルの支援を行いました。

ウガンダ・カンパラのワイズメンからの申し出を受けて、地元 YMCA は最初の援助を行いました。更にコスタリカでのプロジェクトに対しても、早期の支援を考えています。

シャンテイ・パニグラヒ メネット国際主任

## 新しい地域奉仕の取り組み

オーストラリアのジーロング Y サービスクラブでは、大きな活字のクロスワードのプロジェクトを始めようとしています。これは視覚障害や身体上の問題を抱える人々のために考えられ、大きな支持を受けています。企画のものが使えない人々のためです。

ノエル・フーパ会長の言葉。「目だった奉仕事業だけでなく、身体的な理由で日常活動に参加できない会員たちへの取り組みです。退職者やリハビリをしている人々の中に、潜在的な能力を持った人材が沢山あります。この取り組みは所属のクラブや部を超えて可能性を大きく広げるものとなるでしょう。」

ジョン・ボンテフラクト ジーロングクラブ

## インドのクタネラの取り組み

このプロジェクトには、ワイズメネット国際プロジェクトから 4000US ドルを拠出しました。極貧状態の 25 家族 (主として女性) の自活に向けて、縫製・裁断・刺繍・洋服の仕立などの技術指導を、2006 年に着手しました。クタネラ市長は、公共事業として正式に取り組み、私たちの知名度も高まりました。

ミシンや道具・材料が購入され、訓練を受けた技術者が送られています。まず制服の仕立を習い、学校に届けました。

今は、婦人服の異なったデザインの仕立が出来るように努力しています。役人と地域の代表との定期的な集いが持たれ、この事業の発展に向けて話し合っており、そのことが地域に関心を持たれています。2006 年 5 月には、ワイズメネットの目を、訓練を受けている人々と共に祝いました。

婦人服と制服の注文は、次第に増えています。貧しい家庭の経済状態が、少しずつ上向いています。親の無い子供たちの施設に、衣類を届けることを考えています。他の技術習得のクラスも開かれています。

シーラ・アイザック クタネラメネットクラブ

# 私たちのパートナーYMCA

## 世界 YMCA 同盟の一端にふれて

世界 YMCA 同盟は、122 カ国にある YMCA 運動の連合組織です。4 年に 1 回の世界大会で方針を定め、諸問題に対して意見を分かち合い、運動の弓削ヒを支援する方策を決定します。今年この大会が南アフリカ・ダーバンで開かれ、84 カ国から 800 人ももの代表が参加しました。

この大会では、異なった宗教や民族の間に平和を模索する働きに YMCA の重要な役割があると確認されました。また YMCA に対して、イスラエル/パレスチナにおける和平構築への先駆的な働きを加速してほしいとのアピールもなされました。男女間の平等問題の論議は、この大会でのハイライトとなりました。YMCA は、女性の社会参加について地域の中で先駆的な行動を起こす大きな潜在力を持っているという自覚がもたらされたのです。

ワイズのメンバーとして、私たちの理想から「何かを始めよう」と駆り立てられます。あなたのクラブは、平和のために、また理解を深めるために何ができますか？あなたの町で、他の団体との協働ができるのでしょうか？YMCA への連絡を担当する国際事業主任として、私の任務は各区の理事、地域事業主任との連絡を通して、YMCA との連携を強化するためのリーダーシップを提供することです。私の働きは、すべてのレベルクラブがローカル YMCA に、また区や地域がその地の YMCA



同盟に対して同様な努力がなされなければ、何の意味もなくなります。

ワイズメン国際の前進計画は、私たちの二つの組織間の全レベルでの連携強化を、次の 3 年にむけての重要課題としています。上に述べた「何かを始めよう」は、役員就任式で読まれる式文からの引用です。誰かが先ずり

ード役を取る時のみ、何かを起こすことができるのです。あなたのクラブでは、誰がそれをするでしょうか？誰が最初にその「改宗者」となるのでしょうか？

レシェル・リーグ YMCA 連絡担当国際事業主任

## カヌーの贈り物

西日本区の滋賀蒲生野クラブは、キャンプ・風の谷のプログラムのために、2 艘のカヌーと 15 本の櫂を滋賀 YMCA に贈って創立 15 周年を祝いました。このようにして、このクラブはワイズメン国際協会加盟 15 年の歴史に感謝を表しています。若いキャンパーたちがカヌーに乗って自然との対話を楽しむチャンスが増えて、YMCA がますます地域社会に奉仕できることを願っています。ご覧ください、子供たちが嬉しそうにカヌー乗りをしているではありませんか！

菅井恵子 滋賀蒲生野クラブ会長



## 若者はほんとに素晴らしい

若者はほんとに 素晴らしい！

彼らには強さがある みんながそれに驚く

彼らは辛さに耐え 重荷をになう

しかし彼らには 幸せと愛と喜びがある

家族と共にいるから。

若者は微笑む 絶叫したいと思うとき

彼らは歌う 泣きたいと思うとき

彼らは泣く 幸せであるとき

そして彼らは笑う 困ったときに。

若者は闘う 信ずるものを守るために

彼らは立ち上がる 不正に向かって

彼らは答えるときソー ミとは言わない

この時があるように 古き日々は過ぎ去った。

若者の心は張り裂ける 一人の友が死ぬとき

彼らは悲しむ 家族の一人を失ったとき

彼らは知る 抱擁とくちづけが

破れた心を癒してくれることを

彼らはすべての人に 喜びと希望と愛を運んでくれる。

K. レチマナン YEEP 国際事業主任

愛をもって積極参加



## サッカーボール続報

2003/04 年鹿本誌第 1 号の表紙写真はカナダのワイズがサッカーボールをフェアトレードして販売する活動を物語るものでしたが、この話には一つ続編が誕生しました。

今年 4 月、私はアフリカエリアの事業主任たちに研修を行うためケニアのナイロビに参りました。滞在の間に 50 ㊦北のテイカの YMCA を訪問する機会がありました。

Y の敷地内に植樹しているとき、少年たちがサッカーに興じているのを見ました。彼らの「使用球」は褐色の紙袋に詰め物をしてテープで巻いたものでした。私はすぐ上記のフェアトレード活動を思い出して、テイカ YMCA の総主事に、サッカーボールを送る約束をしました。

カナダに帰り、自分の属するマリタイム区の 13 クラブからボールを 1 個ずつ寄贈してもらおうとしたところ、話がふくらんで 50 個贈ろうということになり、さらにワイズ個人の申し出が相次いで、結局今年 10 月 100 個のサッカーボールをパキスタンの製造元からナイロビに直送しました。

この百球はケニア YMCA 総主事により国中の YMCA に配分される運びです。私はただかの地の子供たちが本物のボールでプレーするときの顔の輝きを想像するだけです。困難な境遇にある子供たちにささやかな喜びを届けたカナダエリアのワイズメンに、祝福がありますように。

ケヴィン・カミングズ LT 国際事業主任

## ブラザークラブを作らしましょう

カナダ、プリンスエドワード島のシャーロットタウンクラブは世界中に 6 つのブラザークラブを持っており、これはカナダエリアでは最多です。

言うまでもなく、ブラザークラブ関係は互いの国の実情やクラブの活動の情報を紹介し合うのにふさわしいプログラムです。すべてのクラブがブラザークラブをお持ちになるよう勧めます。

因みに、カナダのマリタイム区では 11 のクラブが計 25 のブラザークラブを持っています。

デイビッド・イング シャーロットタウンクラブ

## 友情は大洋を越えて

今年の早期、私共夫婦は休暇をオーストラリアで過ごしました。ゴスフォードのセントラルコーストクラブの会合に招待され、ロシアのウラル・シベリア地区のワイズ代表として記念すべき機会を得ました。

愛をもって積極参加

多くのワイズメンに私たちの国ロシア、わが都市エカテリンブルグ、そして若いクラブの活動について語りました。26 年の歴史をもつセントラルコーストクラブから豊富な経験を教えられました。ウイルソン夫妻宅に滞在中、クラブのビデオを見せていただき多くのことを学びました。

この短い楽しい交流を感謝し、友情が将来に続くことを確信します。オーストラリアからロシアへの訪問があればこのお返しをしたいと思います。

オルガ&アンドレイ・ヴォスチコフ  
エカテリンブルグ第 2 クラブ

## オールボーイズクラブ

この 2 年間、セントラルコーストクラブは地元テリガル高校のオールボーイズクラブを支援してきました。このプログラムは、なんらかの問題を抱えている少年たちに、熱中できる新しいことを与えて彼らの手助けを図るものです。週に 1 日、彼らは作業場で芝刈り機の修繕、大工技術、建具技術などの手仕事に従事します。また彼らは折々赤十字や救世軍の街頭活動に参加することも期待されます。でも彼らは家での手伝いの分担も、1 日抜けた分の学校の勉強もちゃんとやらなければなりません。

感想は概して良好でした。テリガル高校の校長・教職員も協力的でしたし、親たちも熱心に取り組みました。あるシングルママはその息子がこのプログラムのお陰ですっかり立ち直ったと述懐していました。以前は非行に走るのではと心配だったのが、喜んで登校し積極的になったというのです。クラブはこのプログラムの運営費を援助し、また依頼に応じ少年たちを搬送する役目も果たしてきました。

クラリー・スチーブンス セントラルコーストクラブ(豪)

## 気遣い - 関わり - 共感

困っている兄弟姉妹を助けようという心遣いは非常に大切です。私たちはワイズメンとして自分の持てるものを困っている兄弟姉妹と分かち合う義務があります。申命記 15 章 11 節にもこう書いてあります。「貧しい者が国のうちから絶えることばないであろうから、私はあなたに命じて言う。国のうちにいるあなたの兄弟の悩んでいる老と貧しい者に、必ずあなたの手を開かねばならない。」多くの恵まれない国で行われているタイム・オブ・ファーストの事業はすべてのワイズメンの人を思いやる心を表すものです。私たちが献金している多くの事業は、私たちほど恵まれていない人たちの生活を変える手助けをしようというワイズメンの誓約の証しなのです。私たちが開かれた心と手でこの事業を支援し続けること

# キリスト教強調

ができますように。パウロは私たちに教えています。  
「こういうわけで、いつまでも残るものは信仰と希望と愛です。その中で一番すぐれているのは愛です。」(コリント人への手紙 - 13 章 13 節)

ピーター・ギルバート キリスト教強調国際事業主任

## さあ新学期！

エジプトのミニア・ワイズメンズクラブはこの数年間地元の恵まれない子供たちのための奉仕を続けてきました。今年はアメリカ・イリノイ州のカンカキー・ワイズメンズクラブの支援のおかげで更に奉仕を拡大しています。クラブは「子供の日」を開き、地域の子供 300 人以上が YMCA に集まり楽しい時を過ごし、いろいろなプレゼントを頂きました。2006 年の休暇明けプログラムはこれで終了です。今年のプログラムでは 111 人の子供たちに学用品を配り、学費も支払ってあげました。

シェリフ・アワッド ミニアクラブ会長(エジプト)

## 今村さん、バランタイン賞受賞！

韓国釜山で行われた第 67 回国際大会で今村一之ワイズにワイズ最高の賞「ハリー・バランタイン賞」を授与できたことは私にとって喜びでもあり誇らしいことでもありました。

ワイズダムで「カイ」あるいは「イマムラ・サン」として広く知られている今村一之ワイズは 1962 年 6 月 10 日、発足 10 年後の大阪土佐堀ワイズメンズクラブに入会しました。以来 45 年、クラブとワイズダムに誠実に奉仕し続けています。



ワイズへの奉仕において今村氏はワイズ運動への深い愛を示してきました。その謙虚さ、献身、またワイズの理想への忠誠において今村氏の右に出る人は殆どいません。どんな仕事でも、どんな地位でも彼に重すぎるもの、あるいは軽すぎるものはありませんでした。どんな地位でも彼は最善を尽くしました。ちなみに彼は、まず最初に地域会長を務め、次に区理事、最後に部長を勤めた唯一人のワイズマンです。(再任を除いてですが。)いわば

彼はこの重要な指導的な 3 つの役職を喜んで誠実に逆に務めたただ一人のワイズマンなのです。

カイ・イマムラと奥様の良子さんは、有名な大阪土佐堀クラブ、中西部、西日本区、アジア地域、国際とワイズ運動のあらゆるレベルで活発な奉仕を続けています。今村氏は現在 BFEC( BF 支出委員長 )の重職を担われています。

ベンソン・ワフレ 2005 / 06 年度国際会長

## 行動し平和を現実のものに！

(2006 年度国際ユースコンボケーション主題)

メルボルンの憂鬱な冬から逃れられるだけでも今回の代 11 回国際ユースコンボケーションに参加できればよいと思っておりましたが、160 名の参加者と共にした経験は韓国の豊富な太陽の光をもしのぐものでした。大会は釜山の慶星大学で 7 月 31 日から 8 月 6 日まで 23 カ国、8 つのエリアからの参加者たちとともに開催され苦からの仲間や新しい仲間とディスカッションや意見交換をしながら交流を持つことができました。大学は近代的ですばらしい場所にあり快適に宿泊も会議もしてカルチャーナイトやカラオケもすることができました。



ワークショップと会議を通して我々はワイズ運動にユースのかかわりをもち明るい将来を約束しました。五つのグループでワイズ組織、コミュニケーション、国際ユースプログラムとリーダーシップ開発などが話しあわれました。それぞれのテーマに対して素晴らしい準備をしたファシリテーターに賛美を送りたいと思います。特に YIA 国際事業主任のケネディー・ワフレのリーダーシップトレーニングは特筆すべきものでした。



我々のコンボケーションの主題は長期の目的である、「平和の文化を築こう」(以下：BCP)らでできたものです。またアジア太平洋同盟のイップ・コップ・チュン総主事を迎え BCP についての基調講演をしていただい

愛をもって積極参加

たことは幸運であり、平和と平和の構築の概念を考え BCP 事業の計画にどのように適用してゆくかを考える事ができました。さらに教育とトレーニングに関して焦点をあて、今後 2 年間にそれぞれのコミュニティーで BCP 事業をとりくむチャレンジをしてゆくことも合意しました。

ユースの TOF の取り組みも取り上げられ優先的にこのファンドはひとつの BCP 国際事業のために活用され、具体的な事業に関しては 2008 年のヘルニングでの大会で協議し決定することが確認されました。

いままでの中でもっともすばらしいコンボケーションであったとほとんどの参加者が感じ、釜山ですごした時間は生産的であったこと以上にいつも楽しい時間をもて満足することが

できました。これらの成果は多くの方の協力なしには達成できなかった事で、特に IPYI マイケル・ジュビン、IPIYR 橋崎頼子、IYR



バラッカ・キヌシア、ユース委員のクリスチャン・バコス、グラント・フィリア、ベック・ア・リーそして HCC と参加者全員の協力がなくては成しえなかったことであります。

全員がよい働きを続け、2008 年のヘルニングではできるだけ多くのユースと会える事を楽しみにしています。

ジエ - ムス・オッレ 2006 / 07 ユース・インターン

## ワイズメンの皆様ありがとう

2005 / 06 年度の国際会長を務める機会を与えてくださった全ワイズメンの皆様、本欄を借りて深甚なる感謝を申し上げます。この 1 年は私と妻メアリーそして家族皆にとって忘れえぬ年となりました。

この年度内に国際会長として旅行した先々で私は友情の真の意味を知り、全ワイズメンを結ぶ愛というものを体験しました。各地のワイズメンがその地域社会に、YMCA に、幸机、を求めずに献身的に関わっている状況を視て、何がそうさせるのかを自問しました。このボランティア精神の基は何か？ なぜ自分のための時間・才能・財物を捧げられるのか？ 私はその基はワイズの友情・喜び・楽しみ・人間愛であると信じます。

私は自分の任期中に達成したものを数えようとは思いません。それは歴史家や後の方がすることです。あるワイズ指導者が、私についてまた私の手紙や演説についてまとめてくれた書物を近く刊行されるとのことで、そこ

には多くのワイズメンが賛辞を寄せてくださっているようです。

年度中に、いくつか難題がありました。最大のものは、国

際事務所をジュネーブからチェコのプラハに移転するかどうかの問題でした。また、年度に達成すべき目標、国際会計の選挙、地域工ご的な集票で国際議会の決定が左右されないような舵取りの必要性なども課題でした。

これら各課題に真筆に取り組みされたすべてのワイズメンに感謝します。2006 年 9 月に国際事務所で最終集計した結果、主な国際プログラムの達成額は目標を大きく超えたことが判明しました。

将来に向かって、なお多くの課題が待ち受けています。地域社会と YMCA へのいっそうの貢献、世界の飢餓・無学・疾病・軌轢・抗争の低減、国際協会の各レベルのトレーニングを強化すること、連絡網の電子化、電子投票の環境整備、多くの青年をワイズに惹きつけること、国際の会員数を 3 万人の大台に乗せること、手引きや内規や案内冊子を刷新し全会員に届けること、ワイズのすべての活動が国際につながっているとの意識滴養、国連・YMCA・ワイズメネットほか博愛組織との協働を強めること、そして何より私たちが国際ワイズの原則と理想に忠誠を尽くすことです。

私はケニア・テイカの自分のクラブに戻りました。今後クラブ・部・区・エリアそして国際のために役目を果たしていこうと思います。

ベンソン・ワフレ 直前国際会長



6 月訪日時、仙台 YMCA 幼稚園で植樹するワフレ夫妻

ご存知でしたか？

「ハリー・バランタイン賞」は国際協会が授与する中で最高の栄誉です。この賞はカナダ YMCA 同盟の元総主事ハリー・バランタイン氏にちなんで名付けられました。1957 年創設以来の受賞者の氏名は IHQ のホームページの“Down load”で見ることができます。

